

令和 2 年 4 月提供分の A シート作成例

【例 1】 1 事業所を利用している利用者負担上限月額 4,600 円の児童が、コロナの影響で利用日数が増え、4 月中に代替サービスを利用した場合。

(代替サービス利用分の切り分けと、通所日数増加分の切り分けが発生した児童)

- ① 当初国保連に請求した際の実績から、代替サービスの日数を取り除く。
- ② 代替サービスを取り除いた後の通所日数と通常時の通所日数を比較して、少ない方の日数を平日と休日に分ける。取り除いた日の各種加算も合わせて取り除く。
- ③ コロナに伴う延長支援加算の算定部分について明細から取り除く。
- ④ ①～③の内容で A シートを作成する。

(別添の「例 1 実績・例 1 明細・A シート記入例」を参照してください)

【例 2】 2 事業所(A・B)を利用している利用者負担上限月額 4,600 円の児童が、4 月中に B 事業所で代替サービスを利用した場合。

A 事業所：通所のみ利用（上限管理事業所）

B 事業所：代替サービスのみ利用

	A 事業所	B 事業所
当初総費用額	30,000 円	16,000 円
当初上限管理後の利用者負担額	3,000 円	1,600 円
A シート計算後の総費用額	25,000 円	0 円
利用者への請求額	2,500 円	0 円

※コロナ対策分の切り分けは、把握している利用状況の範囲で算定していただいて構いません。

参考 必ず A シート作成の対象となる児童

次の (1)～(3)に当てはまる児童が、4 月中の平日（臨時休校日）に 1 回以上放課後等デイサービスを利用した場合、または 4 月中に 1 回以上代替サービスを利用した場合。

- (1) 1 事業所のみを利用かつ利用者負担上限月額 4,600 円で、当初国保連に請求した際の利用者負担額が 4,600 円以下の児童
- (2) 当初国保連に請求した際の上限管理結果が 2 番の児童
- (3) 利用者負担上限月額が 37,200 円の児童

※当初国保連に請求した際に利用者負担が発生した児童に限ります。

放課後等デイサービス提供実績記録票

受給者証 番 号		給付決定保護者氏名 <small>(障害児氏名)</small>		事業所番号	
契約支給量	通常は１３日の利用だったが、３月に臨時休校の影響で支給量が３日増え、４月利用で通所を１５日＋代替サービスを１日利用した場合の考え方。			事業者及びその事業所	

日付	曜日	サービス提供実績								保護者等 確認印	備考
		サービス提供の 状況	提供形態	開始時間	終了時間	送迎加算		家庭連携加算	訪問支援特別加算		
						往	復	時間数	時間数		
6	月		2	10:00	15:00	1	1				
7	火		2	10:00	15:00	1	1				
8	水		2	10:00	15:00	1	1				
10	金		2	10:00	11:00	1	0				代替サービス
11	土		2	10:00	15:00	1	1				
13	月		2	10:00	15:00	1	1				
14	火		2	10:00	15:00	1	1				
15	水		2	10:00	15:00	1	1				
17	金		2	10:00	15:00	1	1				臨時休校に伴う支給量増加分
20	月		2	10:00	15:00	1	1				
22	水		2	10:00	15:00	1	1				
23	木		2	10:00	15:00	1	1				臨時休校に伴う支給量増加分
25	土		2	10:00	15:00	1	1				
27	月		2	10:00	15:00	1	1				
28	火		2	10:00	15:00	1	1				
30	木		2	10:00	15:00	1	1				
合計						30回	回	回			

	枚中		枚
--	----	--	---

例 1 明細

障害児通所給付費・入所給付費等明細書

市町村番号	1	4	2	0	1	8	令和	2	年	4	月分
助成自治体番号											

登録事業所番号	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
請求事業者	横須賀事業所										
施設の名称	横須賀事業所										
地域区分	五級地										

受給者証番号	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
給付決定保護者氏名	横須賀 太郎										
支給決定に係る障害児氏名	横須賀 花子										

利用者負担上限月額 ①	4,600	1
-------------	-------	---

利用者負担上限管理事業所	指定事業所番号	1000000000	管理結果	3	管理結果額③	2,000
	事業所名称	大津事業所				

サービス種別	63	開始年月日	令和	1	年	1	月	1	日	終了年月日	令和		年		月		日	利用日数	12	入院日数	
--------	----	-------	----	---	---	---	---	---	---	-------	----	--	---	--	---	--	---	------	----	------	--

サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数	摘要
放デイ24	631511	612	8	4896	
放デイ30	631901	730	4	2920	
放デイ児童指導員等加配加算Ⅰ3・7	634087	91	8	728	
放デイ児童指導員等加配加算Ⅰ3・16	634096	91	4	364	
				0	
				0	
				0	
				0	
放デイ欠席時対応加算	635495	94	0	0	
放デイ送迎加算Ⅰ	636240	54	24	1296	
放デイ上限額管理加算	635370	150	0	0	
放デイ処遇改善加算Ⅱ	636616	602	1	602	
なし	0	0	0	0	
なし	0	0	0	0	

サービス種類コード	63	サービス利用日数	12	日	合計
給付単位数	10806				10806
単位数単価	10.6	円/単位			114543
総費用額	114543				
1割相当額	11454				
利用者負担額②	11454	2			
上限月額調整(①②③の内少ない額)	2,000				2000
調整後利用者負担額					0
上限額管理後利用者負担額					0
決定利用者負担額	2,000				2000
介護給付費等	112543				112543
高額障害福祉サービス費					
特別対策費					
自治体助成分請求額					

枚中		枚目	
----	--	----	--

Aシート
記入例

・上限管理をしている児童について、当初国保連に請求した上限管理結果情報を入力します。
・切り分け後、改めて上限管理をする必要はありません。

・令和2年4月当初、利用予定で実際に利用した日について算定します。平日は、平日の報酬単価で、土日祝日及び春休みは、休日の報酬単価で請求します。（臨時休校がなかった場合を想定して算定します。）
・欠席をして、欠席時対応加算を算定できる場合には、当該加算も算定できます。

・当てはまる項目を選択してください。（処遇改善加算、処遇改善特別加算、特定処遇改善加算について自動で計算されま

・決定利用者負担額を算定します。（自動で計算されます）
・①～③の中で最も値の小さい数字が、自動で決定利用者負担額に記載されます。
・決定利用者負担額が②（利用者負担額②）の場合のみ、補助対象となります。（Bシートへ記入してください。）
・記入例では、管理結果額③が最も小さい値となるため、補助対象なりません。（Bシートへの記入は不要です。）